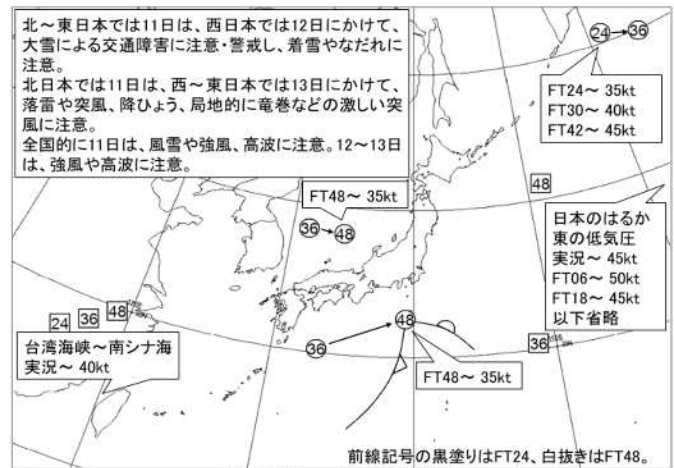


### 1. 実況上の着目点

① 北～東日本には 500hPa で-36℃以下の寒気を伴う 5220～5400m のトラフがあつて東進。対応する低気圧が日本のはるか東にあつて東進。日本付近は冬型の気圧配置となっている。北～西日本には 500hPa で-30℃以下、850hPa で-6℃以下の寒気が流入し、大気の状態が非常に不安定となっている。北～西日本の日本海側を中心に雪が降っており、3時間 3～10cm 程度の降雪を観測。雷を多数検知。

② 日本付近は冬型の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなっており、全国的にやや強い風や強い風が吹いて、波が高くしけの所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 日本付近では 11 日は冬型の気圧配置が続き、北～西日本では 500hPa で-30℃以下、850hPa で-6℃以下の寒気が流入した状態が続く。また、11 日前半にかけて 500hPa 5220～5340m に-36℃以下の寒気を伴うトラフと 5400～5520m に-30℃の寒気を伴うトラフが北～東日本と西日本をそれぞれ通過する。トラフ通過後の 11 日後半から次第に冬型の気圧配置は緩む。このため、北～西日本では 11 日前半にかけて日本海側を中心に降雪量が多くなる所がある。また、北～西日本では上空寒気の影響で、引き続き大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本の日本海側を中心に 11 日にかけて、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪やなだれ、落雷や突風、降ひょう、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。

② 11 日は、冬型の気圧配置が続く影響で、前半中心に気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹いて、波が高くしけとなる所がある。全国的に 11 日は、風雪や強風、高波に注意。

③ 12 日は、500hPa で-36℃以下の寒気を伴う 5400～5460m のトラフが深まりながら夜にかけて、西日本に進む。トラフ接近に伴い、朝までに四国の南と日本海に低気圧が発生する。四国の南の低気圧は、日本の南を東北東進し、13 日にかけて急速に発達しながら日本の東に進む。日本海の低気圧は 13 日夜にかけて、東日本の日本海側まで進み不明瞭となる。西～東日本では、これらの低気圧の影響で雨や雪の降る所がある。また、上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。西日本では 12 日は大雪による交通障害に注意。西～東日本では 12～13 日にかけて、落雷や突風、降ひょう、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。

④ 12～13 日は、2 項③の低気圧と華中付近の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高くなる所がある。全国的に 12～13 日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(06 時からの 24 時間) : 多い所(100 mm以上)はない。② 降雪量(06 時からの 24 時間) : 東北・北陸・近畿 30、中国 25、北海道・関東甲信 10cm。③ 波浪(明日まで) : 東北・北陸・伊豆諸島・中国 4、その他広い範囲で 3m。④ 高潮(明日まで) : 大潮の時期。北～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。